

平成25年(2013年)11月1日発行

理事長就任挨拶

7月16日付で、学園第5代の理事長に就任いたしました。日本工業大学をはじめ、学園の関係の皆様宜しくお願ひ致します。前任の大川名誉理事長先生は23年間の長きにわたって学園をリードして来られました。バトンを引き継ぐ重責を痛感し、決意を新たにしております。

さて、本学園は一世紀を超える歴史の中で、その時代、時代の求める人材、技術者を送り出し、産業界をはじめとする社会の厚い信頼を得てまいりました。さらなる学園の発展に向けて、どのようなビジョンを描くべきでしょうか。本学園にとって、変えるべきもの、

変えてはいけないものとは、何なのでしようか。物づくりに触れ、科学する心を中学校・高校において丁寧に育み、それを大学の工学教育で大きく伸ばしているのが本学園です。特に大学における教育においては、実践を重視し、その中で自ら感じた問題、課題を理論学習につなげ、再び実践に取り組み、この往復をしながら技術習得をしていく「実工学の学び」は、その内容は日々変化していくとしても、変えてはいけないものの一つでしょう。同時に、教育は社会の変化、技術の進歩に柔軟に対応し、時代の要請に

学園の伝統を受け継ぎ、さらなる発展を

理事長 柳澤 章



えていかなければなりません。しかし、ここでも変えてはいけないもの、それは、「人間教育」です。技術が人間にとってどんな意味を持ち、いかなる価値を持つのかを問うける教育です。技術が社会の在り方や人の行動に大きな影響を与えるのであればこそ、自らが携わる技術の向こうにある人間を忘れない人材を育成したいものです。学園百年の伝統は、人間教育です。変えなければいけないもの、それは無数にあるでしょう。伝統を受け継ぎ、改革のバトンをしっかり握り前進してまいります。

キャンパスリニューアル

体育館と健康管理センターの改修工事が完工。より機能的で、利用しやすくなりました。



【上】体育館入口 【左下】アリーナからステージ方向 【右下】トレーニング室

2012年8月に着工し、本年8月6日に完工した体育館(W21棟)の耐震化・リノベーション工事をはじめとする夏期休暇中のキャンパス整備工事の概要について紹介する。

健康管理センター(W21棟)の増床工事として左記11点の改修を行った。

①アリーナの拡張、バスケットボール公式コート②アリーナ2階に観客席を148席設置し、収容人数を約2350人へ拡大③ステージに350インチスクリーン・プロジェクターを設置④緩衝の更新とバックライトの設置⑤シャワー室の拡大・整備⑥体育館東側(食堂側)1階に倉庫内を約160平方メートル増床し、ベッドスペースを確保⑦教員研究室増築。これらの改修により、教育環境の充実とともに緊急時の安全確保とイベント等、多目的な利用が可能となった。

女子トイレの改修  
今夏、キャンパスの女子トイレ全てをウォッシュレット化し、快適性をアップ。来年度は全男子トイレを計画している。省エネルギー化  
①建築学科棟(W10棟)5階・6階空調を個別空調としGHP化②9号館全域高効率照明化。これらの改修により、年間CO<sub>2</sub>排出量の削減と利便性向上を図った。

11月2・4 若杉祭 LINK 今年のテーマ

昨年の様子

本年も11月2日(土)～4日(月)の3日間、第45回若杉祭が開催される。今年の若杉祭のテーマは「LINK」。ご来場いただいた方々と参加している学生、教職員全てが繋がって協力し、学祭を盛り上げ、楽しんでいただきたいという意味の込められたテーマである。期間中には、毎年恒例の『秋のからっ風こんさあと(来学アーティスト 清水翔太)』をはじめ、ホームカミングデー等、子供から大人まで楽しめる各種イベントが企画されているので、ぜひご来場いただければ幸いです。

大学祭実行委員会委員長 関口真一

秋季学位記授与式・入学式を挙げる

去る9月15日(日)、平成25年度秋季学位記授与式・留學生別科修了証書授与式、および秋季入学式が、本学14号館5階の会議室で執り行われた。

2つの式典が同日開催となつてから2回目の今回は、まず午前9時30分から秋季学位記授与式・留學生別科修了証書授与式が、学部40名、大学院博士前期課程5名、留學生別科8名の出席で執り行われた。

続いて正午からは、同会場にて秋季入学式が挙行された。新たに本学で入学生生活スタートさせたのは、学部7名、大学院博士前期課程4名、留學生別科11名の合計22名。波多野学長は式辞で「誰かを支える、誰かを幸せにする、そのための」

（早期進学の1名を含む）の合計53名が本学を卒業・修了した。式は、学位記・修了証書授与、波多野学長の告辞、柳澤理事長による祝辞、後援会と工友会からの記念品贈呈と進み、最後は全員で校歌を斉唱した。

式の終了後には、恩師を囲んで写真撮影をするなど、本学での最後の思い出作りをする場面が見られた。

当日は台風が接近しているというあいにくの天候ではあったが、来賓の柳澤理事長、土井工友会会長に加え、多くの教職員が出席した。また、日曜日の開催ということもあってか、父母の姿も多く見られ、華やかな式となった。

何かをつかみ取るために、工学を学んでください」と述べた。

オープンキャンパスのお知らせ  
11/23(土)「入試直前対策をチェックしよう!」  
大学・学科紹介、学内施設公開、研究室ツアー、入試説明、入試対策講座、個別進路相談など...  
お問い合わせ・お申込み先: 教務部入試室  
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

日本工業大学 工学部 平成26年度入試日程

●機械工学科 ●ものづくり環境学科 ●創造システム工学科 ●電気電子工学科 ●情報工学科 ●建築学科 ●生活環境デザイン学科

入試種別	日	程
特別奨学生入試 [筆記試験、調査書 および面接による選考]	出願期間	1/6(月)～1/24(金)
	試験日	1/31(金)～2/2(日) 本学(都合のよい日を選択)
一般入試	出願期間	1/6(月)～1/24(金)
	試験日	1/31(金) 本学・郡山・水戸・高崎・千葉・東京・静岡 2/1(土) 本学・仙台・東京・新横浜・新潟・長野・金沢 2/2(日) 本学・宇都宮・柏・東京
	センター利用入試	センター利用入試A センター利用入試B センター利用入試C
センター利用入試	出願期間	1/6(月)～2/3(月) 2/3(月)～2/14(金) 2/17(月)～3/5(水)
AO入試 ・AOエントリー入試 ・AOコーディネータ入試	エントリー入試のエントリー期間	10/26(土)～11/25(月) 1/31(金)～2/24(月)
	コーディネータ入試の申込期間	平成26年2月28日(金)まで、随時受付
	面談・面接等	書類受理後に連絡
	出願期間	11/29(金)～12/12(木) 2/17(月)～3/5(水)
	選考	書類審査等
合格発表	12/21(土)	3/15(土)

本学で先端技術研究の取り組みを  
社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科  
博士前期課程 \*環境共生システム専攻 \*機械システム工学専攻 \*電子情報メディア工学専攻 \*建築デザイン工学専攻  
博士後期課程 \*機械工学専攻 \*電気工学専攻 \*建築学専攻 \*システム工学専攻 \*情報工学専攻

■平成25年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

募集	出願期間	面接試験	合格発表	事務締切
二次募集	平成26年2月5日～2月12日	2月24日	3月5日	平成26年3月11日

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

[試験会場は本学のほか、仙台・水戸・高崎・宇都宮・東京・長野・新潟・金沢を設置! (専門高校入試(B工業科)、一般推薦入試(公募制))]  
\*専門高校入試(B工業科) <出願期間> 第1期: 10/17(木)～11/12(火)、第2期: 11/25(月)～12/10(火)  
\*一般推薦入試(公募制) <出願期間> 第1期: 11/1(金)～11/12(火)、第2期: 11/25(月)～12/10(火)  
\*各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。  
願書のご請求およびお問い合わせ先  
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学 入試室  
電話: 0120-250-267 URL: http://www.nit.ac.jp/ E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp



### 今夏の国際交流

**学長一行 タイKMUTT訪問**  
7月17日(水)～21日(日)、波多野学長、古閑留学生別科長、情報工学科・正道寺教授、原施設環境管理課長の4名が、91年から本学と提携協定を結んでいるキングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)を訪れた。同校を訪問し、同校の図書館や本学との共同研究施設を見学した。

後、今後の学術交流について意見交換した。午後には、大学院建築デザイン専攻のキャンパスを訪問した。

また、本学との提携を希望しているパンヤピワット経営大学(PIWM)も訪問。タイで活躍している本学卒業生や修了生が同窓会を開催し、再会を喜び合った。



KMUTT大学院建築デザイン専攻にて

は留学生別科との協定校で、多くの卒業生が本学に入学している。今回の訪問目的は、学長表敬教育・研究施設の見学、留學生別科での日本語授業受講、先輩在学生との交流と盛りだくさんであった。施設見学では、予定にはなかった付属駒場高校生の創造実習を含む



カナダ人講師による授業

### 夏休みの海外研修・インターンシップ

カナダで4週間のホームステイ  
学生9名と教職員3名はアルバータ州クロウズネスト・パスの本学研修所に8月8日到着した。雄大な自然の中、ラフ

め、興味深く参観した。ラチャマンガラ工科大学代表団が来学・視察。8月6日(火)、タイのラチャマンガラ工科大学のクリスナポン・グリティカラ理事長を代表として、同大学を構成する9つのキャンパスの学長・副学長ら28名が波多野学

長を表敬訪問した。その後、本学教職員による「本学の組織と実工学・工房教育」、「環境への取り組み」、「産学連携起業教育」をテーマにした講演に熱心に聞き入った。施設見学後、学友会館で柳澤理事長、波多野学長、講演会講師を交えて賑やかに懇談、意見交換した。

### MOTクラブの活動

神田神保町にある専門職大学院では、修了生に修了後も大学院に集まってもらい、経営に関する知識や話題を提供してネットワークを維持している。その一環として「MOTクラブ」という修了生なら誰でも入れるクラブを組織して、話題を提供している。

このように、インベションの起すような研究開発の進め方や、企業の継続が危ぶまれるときの事業の存続のさせ方など、MOTで学ぶ人たちが興味を持つ、事例を

専門職大学院だより  
第一回は7月に開催され、好評を博している。また、本大学院修了生の原顕寛氏は「中小企業のMBO活用による事業再生を目的とした事業承継」という企業買収や再生に関する講演を行った。

浴剤「バスクリン」を切り離して、(株)バスクリンとして企業再生を果たした経緯などについて、同石川泰宏氏に講演いただいた。また、本大学院修了生の原顕寛氏は「中小企業のMBO活用による事業再生を目的とした事業承継」という企業買収や再生に関する講演を行った。

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	資産の部		増減
	H24年度	H23年度	
固定資産	41,260,895	40,090,348	1,170,547
有形固定資産	20,478,328	20,440,395	37,933
その他の固定資産	20,782,567	19,649,953	1,132,614
流動資産	4,324,284	4,441,640	△ 117,356
合計	45,585,179	44,531,988	1,053,191

(別表4) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H24年度		増減
	H24年度	H23年度	
収入の部	5,951,507	5,920,942	30,565
支出の部	2,791,520	2,868,513	△ 76,993
収入の部合計	11,927,630	12,090,358	△ 162,728

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	H24年度	H23年度	増減
補助金/附属収入	8.2%	8.7%	-0.5%
人件費/附属収入	35.8%	37.6%	-1.8%
教育研究経費/附属収入	33.1%	33.3%	-0.2%
管理経費/附属収入	7.3%	6.7%	0.6%
借入金等利息/附属収入	0.7%	0.8%	-0.1%
人件費/学生納付金	42.8%	46.2%	-3.4%

(別表1) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H24年度		増減
	H24年度	H23年度	
収入の部	6,345,144	6,402,737	△ 57,593
支出の部	2,737,253	3,039,689	△ 302,436
収入の部合計	11,991,181	12,592,965	△ 601,784

(別表2) 消費収支計算書 単位:千円

科目	H24年度		増減
	H24年度	H23年度	
消費収入の部	6,345,144	6,402,737	△ 57,593
消費支出の部	2,714,531	2,955,931	△ 241,400
消費収入の部合計	6,632,150	7,437,943	△ 805,793

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	H24年度		増減
	H24年度	H23年度	
負債の部	5,560,643	5,969,879	△ 409,236
基本金の部	43,521,545	42,579,920	941,625
合計	49,082,188	48,549,799	532,389

四・むすび  
防災・減災等の危機管理体制は、引き続き強化する予定。今夏八月に実施した埼玉県との合同防災訓練を契機に、大学独自の訓練を実施し、学生・教職員の安全確保に努めると共に引き続き充実した教育研究を推進してゆく所存である。そのためにも、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であり、これからも関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます(財務部)

第46期決算・第47期予算  
一・はじめに  
第四十六期決算、第四十七期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されたため、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力をお願いする。

二・平成二十四年度決算  
と利便性が保たれ、景観も向上した。

三・平成二十五年度予算について  
平成二十五年度の全ての資金の流れとその顛末を示す「資金収支計算書」(別表4)の概略は次のとおり。主たる収入である学生生徒等納付金収入は、前年度比約一千三百萬円の減少となった。教育研究経費は総額で二十五億六千六百萬円となり、前年度比一億二千萬元の減少を意味している。学生への還元を表す教育研究費比率(別表5)で参照は約三・一%で

あり全国的にも高い水準を継続して維持している。管理経費は総額で五億四千万円、前年比二千三百萬円増加。学生募集費等の要因によるもの。

埼玉県・白岡市総合防災訓練

万一の災害に備え、約4000名が参加

8月31日(土)、本学を会場に総合防災訓練が行われた。この訓練は、9都県市合同防災訓練の一環として埼玉県と白岡市が主催するもので、本学のほか、県内5か所の会場で同時に行われた。そのため、本学にも県や自衛隊のヘリコプターが多数飛来し、埼玉県知事も視察に来学するなど、大規模なものとなった。当日は炎暑の夏季休業中にもかかわらず学生2000名、教職員1000名、近隣住民85名の参加を得て、震度6強の地震が発生したという想定のもとに、まずはその場での安全を確保するシミュレーションから始まり、その後は、初期消火訓練、負傷者搬送訓練、心肺蘇生法やAEDの講習、帰宅困難者訓練などを行い、最後には「炊き出し訓練」として調理した300食分のカレーライスを加者に配布して終了した。



体育館で行われたAED講習

こうした訓練は本学でも初めて。この経験でも「いざ本番」の時に役立つ貴重な教訓を得た。

小中学生20組が、ロボット制作を体験

ひらめき☆ときめきサイエンス

8月3日(土)、本学4号館において小中学生対象の体験授業「生物に学ぶ未来のロボット」を実施した。創造システム工学科・中里裕一教授の指導のもと、子供たちが自らロボットを制作し、動きを制御するプログラミングを考え、いかにルートを早く完走できるかを競った。他にもロボットに関する講義、大学施設見学、大学生との交流などを実施。「夏休みの思い出になった」と大変好評であった。

なお、この事業は(独)日本学術振興会の科学研究費助成事業として実施された。



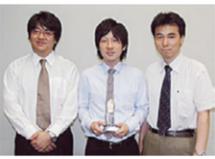
深谷健介君(博士前期課程2年)と白石陽一氏(株)WAJ・本卒業生)が、ハラスメントに関する知識不足、学生および教職員間での認識の違いなどについて知見を共有する。深谷君は「2年間の研究成果が評価されて大変嬉しい。今後ますます発展的な研究ができるよう努力したい」と述べている。



専門講師を招き

第39回教育改革シンポジウム アカデミック・ハラスメント防止研修

今回の研修は9月12日(木)、大学特有のハラスメントであるアカデミック・ハラスメントについて、教職員の知識・理解を深めることにより、良好な就学・職場環境を維持することを目的として開催された。ハラスメントが起る大きな原因である、ハラスメントに関する知識不足、学生および教職員間での認識の違いなどについて知見を共有する。

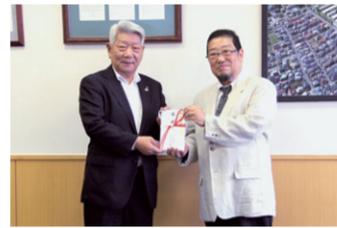


二ノ宮研究室の大学院生らが学会から委員長賞を受賞

機械工学専攻二ノ宮研究室に所属する深谷健介君(博士前期課程2年)と白石陽一氏(株)WAJ・本卒業生)が、ハラスメントに関する知識不足、学生および教職員間での認識の違いなどについて知見を共有する。

9月4日(水)、本学学長室において、川口信金による本学への寄付講座「創業の基礎」の目録贈呈式を執り行った。同信用金庫より講座の寄贈を受けるのは、今年で3年目となる。講座の開設期間は9月19日(木)〜14年1月11日(土)までの計15回、全学年・全学科対象の自由科目となっている。起業の心構えや成功事例の紹介、マネジメント手法などについて、会計士などの実務家講師が実践的な視点から講義を行うほか、宿泊研修も行う。なお、この講座は公開講座となっており、社会人も受講することができる。同信用金庫の目下、理事長は「地域貢献の一環として講座の寄贈を行っている。地域貢献は信用金庫の使命である。学生たちの技術マネジメント力が向上することを願っている」と述べた。

信用金庫の使命である。学生たちの技術マネジメント力が向上することを願っている」と述べた。



目録を受け取る波多野学長

日本工業大学吹奏楽団 第30回定期演奏会 12/1(日)開催 入場無料 春日部市民文化会館大ホール

専門職大学院 オープンキャンパス

2013 12/7(土) 2014 2/8(土) 説明会、模擬授業、パネル討論会、キャンパスツアー等

人事異動

- 中野道正准教授(機械工学科) 教授に昇任
佐藤弥准教授(共通教育系) 教授に昇任
衛藤和文准教授(共通教育系) 教授に昇任
[任命] 10月1日付
ものづくり環境学科主任 八木浩史教授(兼任)
電気電子工学科主任 石川豊教授(兼任)
建築学科主任 武田光史教授(兼任)
共通教育系主任 菊地信一教授(兼任)
機械工学専攻幹事 長坂保美教授(兼任)
システム工学専攻幹事 伴雅人教授(兼任)
情報工学専攻幹事 石川孝教授(兼任)
環境共生システム工学専攻幹事 伴雅人教授(兼任)
機械システム工学専攻幹事 中里裕一教授(兼任)
電子情報メディア工学専攻幹事 石川孝教授(兼任)
学生支援部長補佐 張曉友准教授(兼任)
学修支援センター長 川台耕一郎(兼任)
工学教育推進本部長兼担 青柳毅教授(兼任)
[退職] (8月31日付)
石田武志准教授(ものづくり環境学科)
樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科)
出張先ベトナム(8/16/8/23)
目的のベトナム・ホイアンにおける環境共生建築の実地調査
張曉友准教授(機械工学科)
出張先中国(8/17/8/26)
目的の2013年第三回応用機械・材料および加工に関する国際会議における研究発表
竹内貞雄教授(機械工学科)
出張先イタリア(8/31/9/6)
目的のタイヤモンドとカーボン材料に関する国際会議にて論文発表
伴雅人教授(創造システム工学科)
同前
勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学科)
出張先カナダ(9/4/9/15)
目的の2x4木造建築工法によるカナダ研修での建設作業指導
那須秀行教授(建築学科)
同前
野口憲治助手(建築学科)
同前
渡部修一教授(創造システム工学科)
出張先タイ(9/6/9/9)
目的の研究プロジェクトの打ち合わせおよび施設見学
細田彰一准教授(機械工学科)
出張先カナダ(9/7/9/11)
目的のカナダ研修所にて出前授業および進捗指導
神野健哉教授(電気電子工学科)
出張先アメリカ(9/7/9/13)
目的の2013年非線形理論とその応用に関する国際会議にて研究論文発表
勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学科)
出張先カナダ(9/9/9/10)
目的のカナダ研修所にて出前授業および進捗指導
鈴木宏典准教授(ものづくり環境学科)
出張先台湾(9/10/9/12)
目的の第10回東アジア交通学会国際会議での研究発表

国外出張

- 藤田剛夫(総務部長)
出張先ドイツ(8/1/8/10)
目的の海外研修
成田剛准教授(建築学科)
出張先イラオス(8/5/8/23)
目的のシエンクアン仏建築修復元修復のための建築材料および構築に関する研究
上田学助教(建築学科)
同前
鈴木仁講師(共通教育系)
出張先カナダ(8/8/9/6)
目的の海外語学研修引率
ジュリアン・チェスワース講師(英語教育センター)
同前
鈴木良裕(学生支援課主任)
同前
樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科)
出張先ベトナム(8/16/8/23)
目的のベトナム・ホイアンにおける環境共生建築の実地調査
張曉友准教授(機械工学科)
出張先中国(8/17/8/26)
目的の2013年第三回応用機械・材料および加工に関する国際会議における研究発表
竹内貞雄教授(機械工学科)
出張先イタリア(8/31/9/6)
目的のタイヤモンドとカーボン材料に関する国際会議にて論文発表
伴雅人教授(創造システム工学科)
同前
勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学科)
出張先カナダ(9/4/9/15)
目的の2x4木造建築工法によるカナダ研修での建設作業指導
那須秀行教授(建築学科)
同前
野口憲治助手(建築学科)
同前
渡部修一教授(創造システム工学科)
出張先タイ(9/6/9/9)
目的の研究プロジェクトの打ち合わせおよび施設見学
細田彰一准教授(機械工学科)
出張先カナダ(9/7/9/11)
目的のカナダ研修所にて出前授業および進捗指導
神野健哉教授(電気電子工学科)
出張先アメリカ(9/7/9/13)
目的の2013年非線形理論とその応用に関する国際会議にて研究論文発表
勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学科)
出張先カナダ(9/9/9/10)
目的のカナダ研修所にて出前授業および進捗指導
鈴木宏典准教授(ものづくり環境学科)
出張先台湾(9/10/9/12)
目的の第10回東アジア交通学会国際会議での研究発表

宮代町の魅力を全国に動画配信

宮代町インターネット放送局では、町内のスポーツや文化活動等を動画配信してまいります。番組制作や運営の主体は地域の皆さんで、日工生もウェブサイトの設計やデジカメ講座の講師として活躍。皆さんも独自の視点だけの動画を制作してみませんか。興味のある方はお問い合わせください。11月10日(日)には、市民活動サポートセンターで動画コンテンツを開催します。【問】NPO法人MCA サポートセンター0480・34・1163

編集後記

台風一過の原稿をしたためている平成25年9月17日は、昨日の荒れた天気か嘘のような晴天である。どの方向から空を見上げても、一面青空。良い季節を迎えたものだ。爽やかな秋風と共に、学生の華やいた声が、どこからともなく聞こえてくる。そう、秋学期の授業が始まったのだ。昨日と今日の違いがあまりにも大きすぎるためか、ふと、「禍福は糾(あざな)える縄の如し」という成句を思い出した。幸福と不幸は表裏一体で、かわるがわる来るものだから、このことわざを、成功も失敗も縄のように表裏をなして、めまぐるしく変化するのが、この世の常でもある。類義語も多い。「人間万事塞翁が馬」「苦あれば楽あり」。反語の「楽あれば苦あり」もある。「朝の来ない夜はない」「春の来ない冬はない」と考えることが、人生を生き抜くコツなのだろう。【信